

ONO SOKKI

DS-0222 トラッキング解析



株式会社 小野測器

位相トラッキング

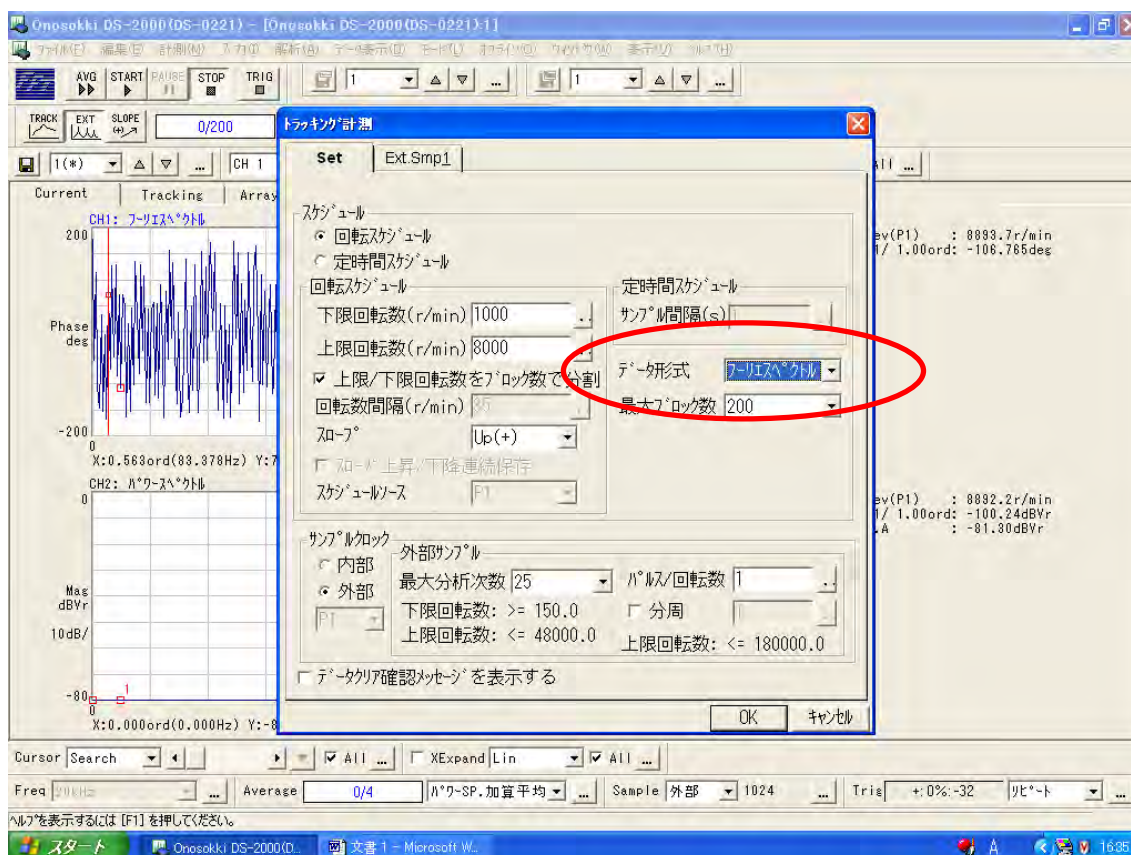
ch 1 と ch 2 の位相トラッキングのデータを比較することで、ch 1 と ch 2 の位相差を見ることができます。

位相トラッキングは、1 回転 1 パルスの信号でトリガーをかけます。トラッキングで使用する回転信号が 1 回転 1 パルスでしたら、その信号を分岐してコネクタ「EXT TRIG IN」に接続します。

トラッキングの基本的操作を行った後、以下の操作を続けて行います。なお、トラッキングの基本的操作は「DS-0222 トラッキング測定編」を参照ください。

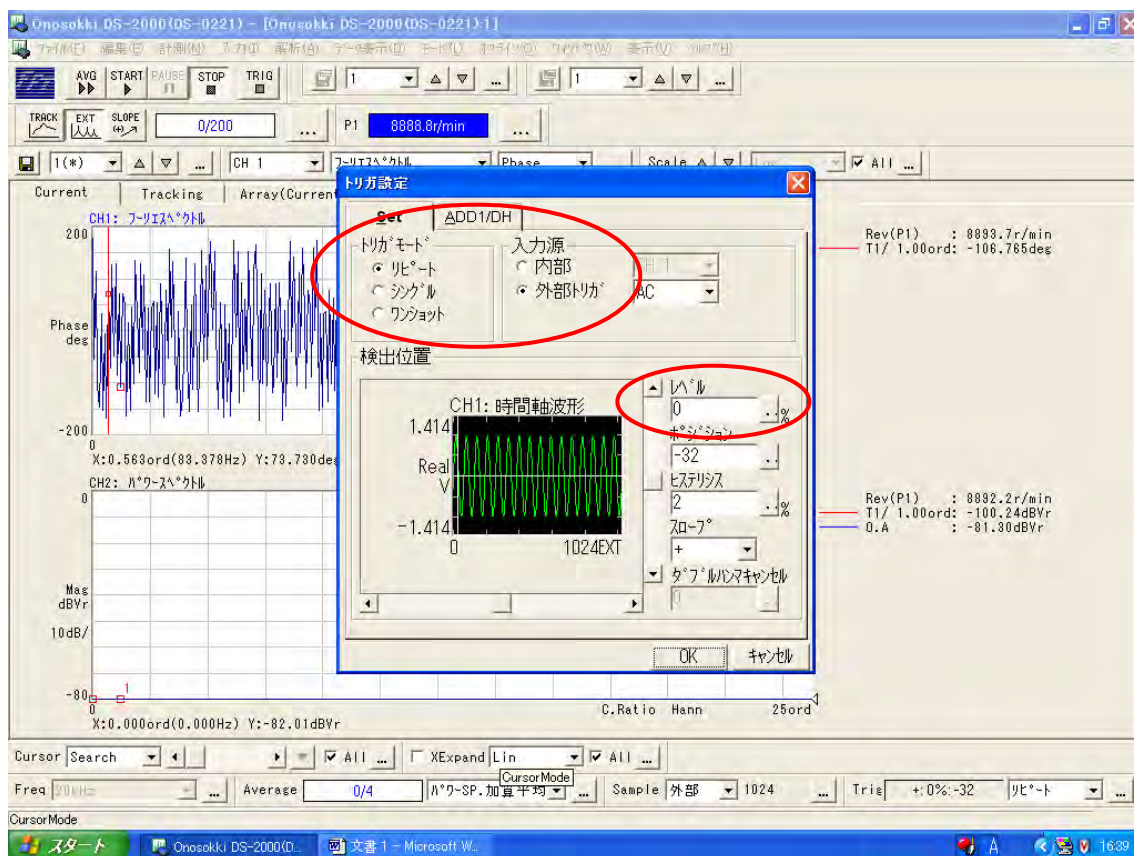
(1) 入力 → トラッキングのページを開く

- データ形式を パワースペクトル → フーリエスペクトル に切り替えます。



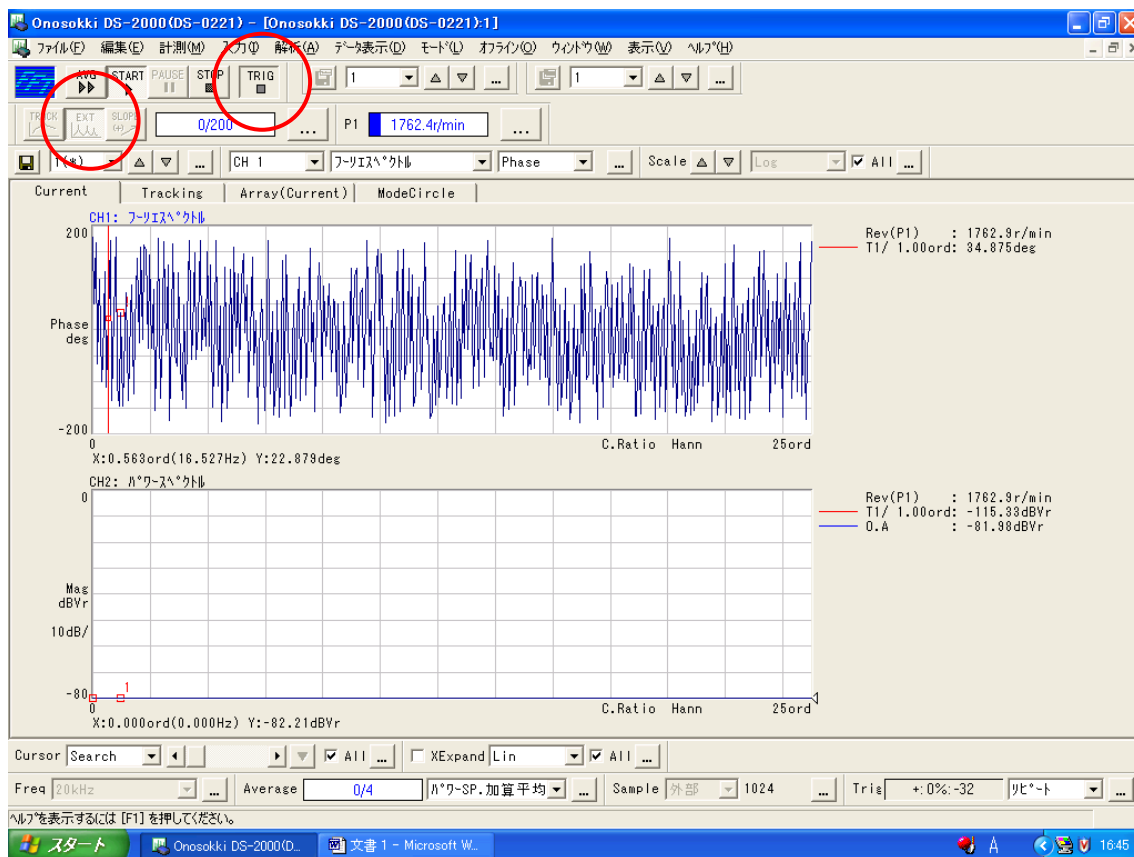
(2) 入力 トリガ設定のページを開く

- 入力源を リピート 、外部トリガ を選択し、信号にあわせて AC/DC を選択します。
- トリガレベル を調整します。



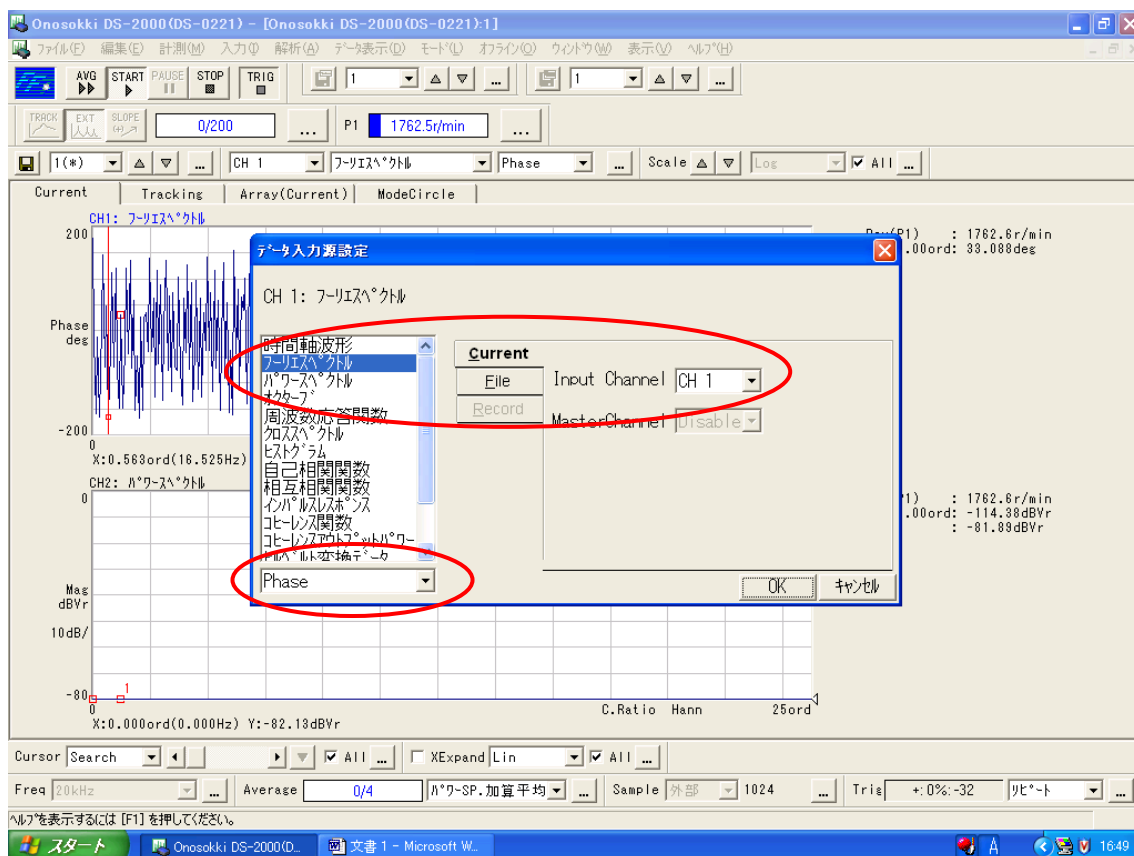
(3) 試験機を回転させて回転信号を入力します

- **EXT** ボタン ON、**トリガボタン** を ON にし、**TRIG** ボタンのランプが点滅することを確認します。点滅しない場合は (2) のトリガレベルを再調整します。



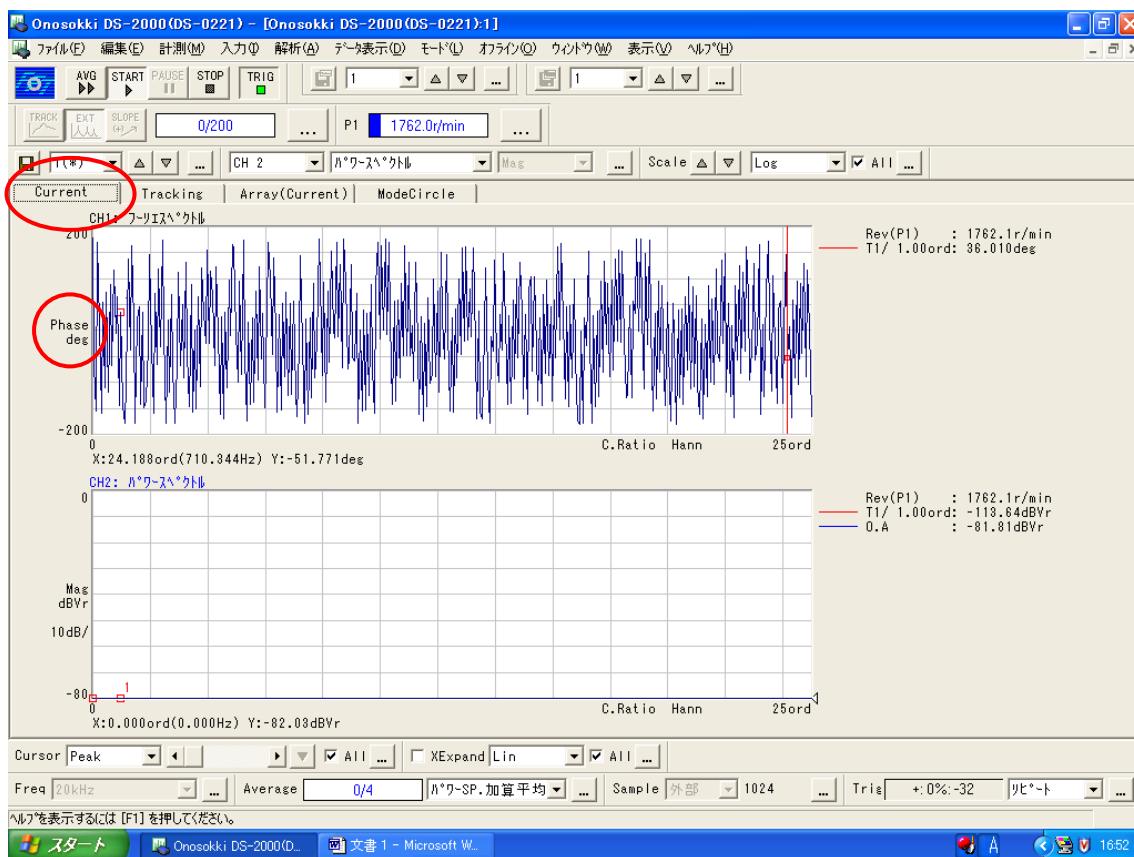
(4) データ表示 → データ入力源設定ページを開きます

- 2画面表示の上画面、フーリエスペクトル、 PHASE ch1 を選択します。
- 同様に下画面も フーリエスペクトル、 PHASE ch2 を選択します。



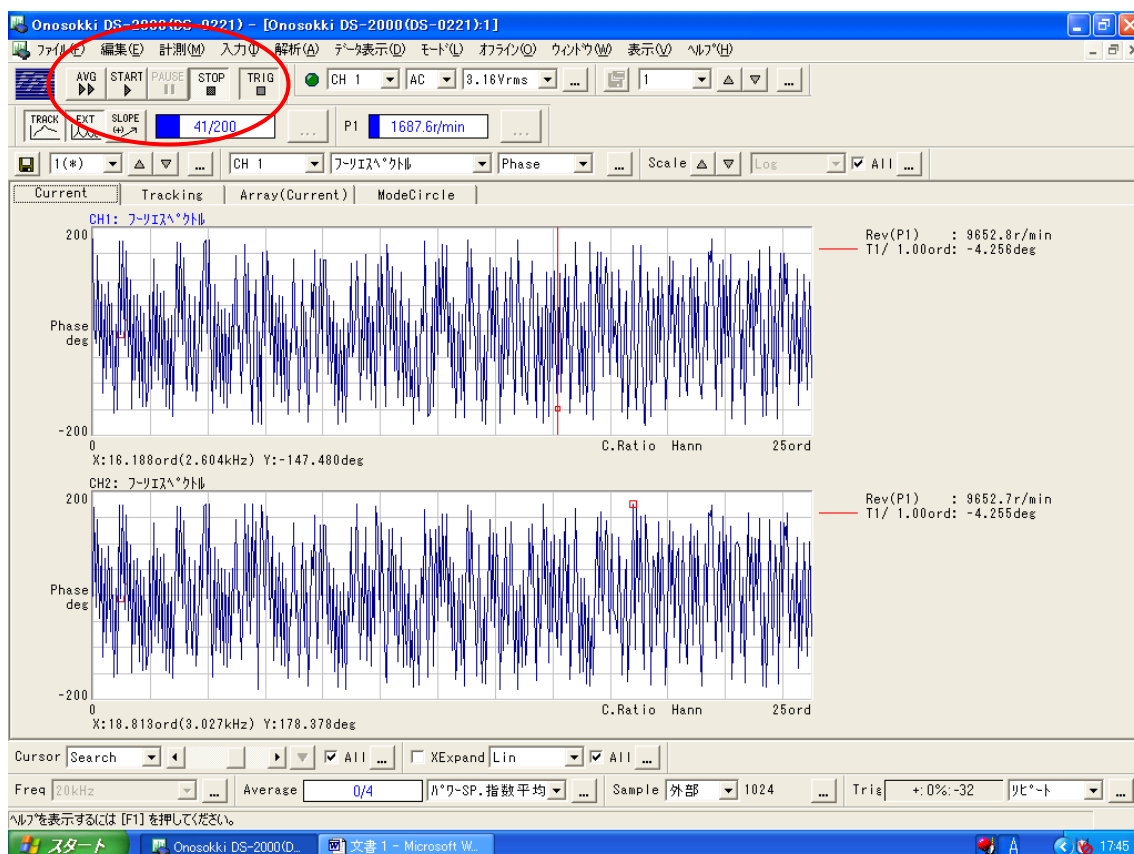
(5) データ表示を Current にします

- X 軸が次数、Y 軸が **Phase** 表示になっていることを確認します。



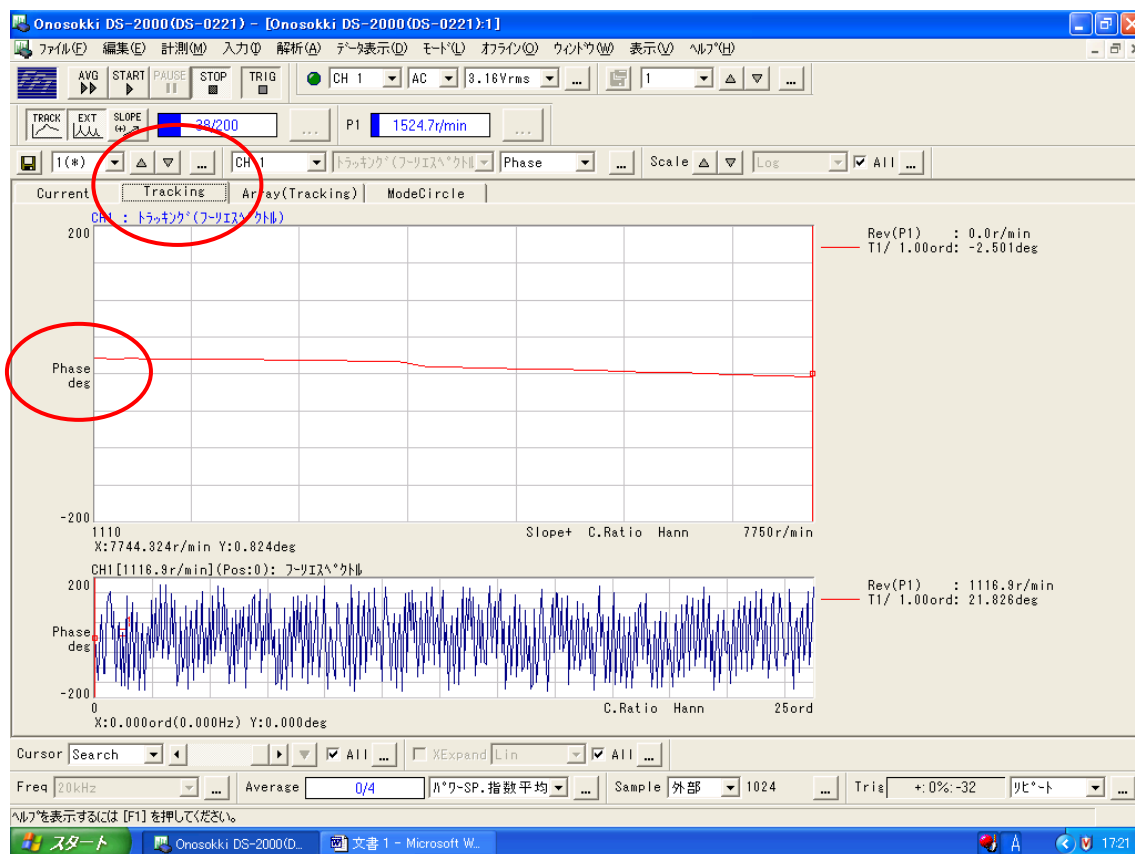
(6) 回転速度を初期に戻します

- **TRACK**、**EXT**、**TRIG** ボタンを ON にし、**START** ボタンを押し、計測開始します。
- 回転速度を徐々に上昇させます。上限回転速度に達したら測定は自動で **STOP** します。



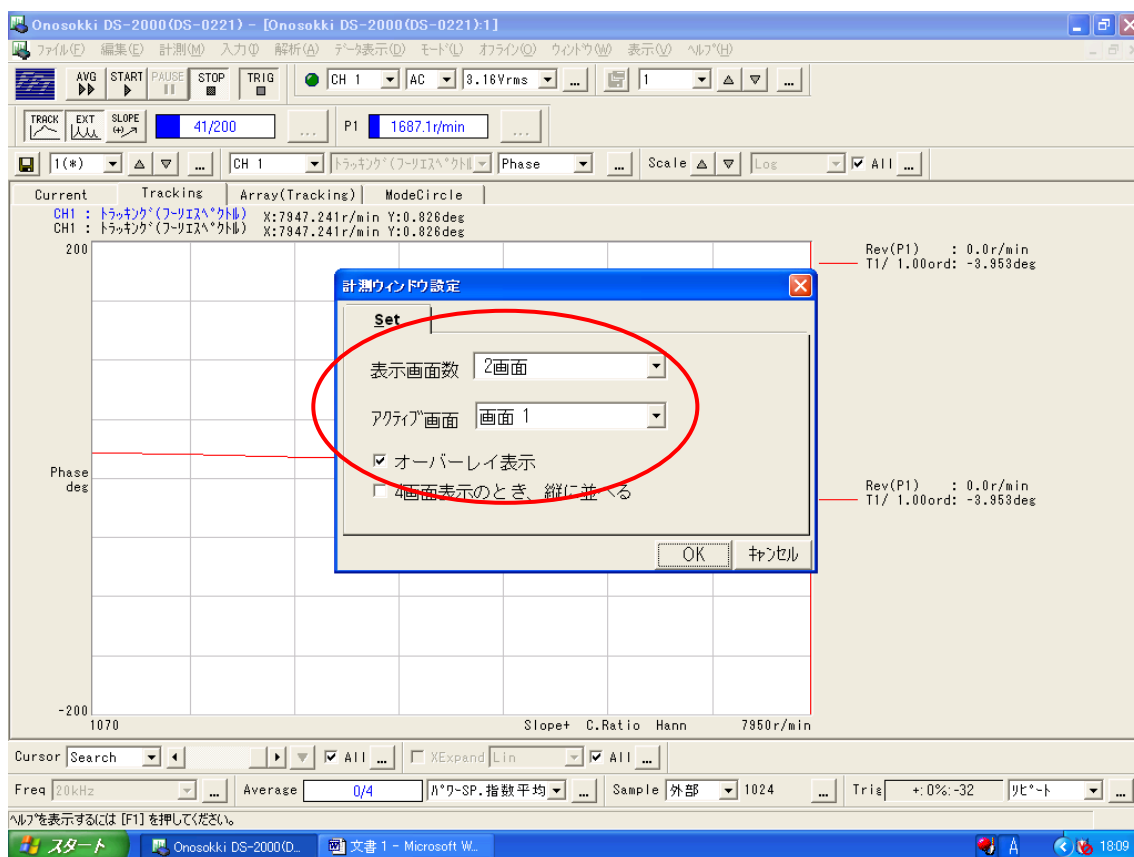
(7) Tracking に表示を変更します

- X 軸が回転速度、Y 軸が設定次数の位相 (Phase) 表示になります。



(8) データ表示 → 表示レイアウトのページを開きます

- トラッキング ch 1、ch 2 の 2 画面表示を選択します。また、同ページの オーバーレイ を ON すると重ね書きします。



2 画面表示

